

新型コロナウイルスワクチン

県感染症情報センター

声なき感染症を知る

◆83◆

奈良県において令和3年3月8日から、新型コロナウイルスワクチンの医療従事者への接種が始まりました。今回は新型コロナウイルスワクチンについてお話しします。

▽接種順位とその理由

ワクチン接種は、まず最初に医療従事者等へ順次行われ、その後65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する方等の順に接種を進めていく予定です。さらに、医療従事者の中でも、まず新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている重点医療機関の従事者、次に新型コロナウイルス感染症を疑い患者を受け入れている医療機関の従事者、最後にその他の医療機関の従事者という順になっています。

接種順位があるのは、接種対象者のワクチンの確保を一度に行うのが

的としています。

困難であること、医療従事者は感染者の対応を行っており、もし感染者が出た場合医療提供体制への影響が大きいこと、高齢者や基礎疾患を有する方は感染した場合に重症化する

現在接種が始まっている米ファイザー社と独ビオンテック社が共同開発したワクチンは、通常3週間あけて2回の接種が必要です。このワクチンの発症予防効果は95%とされており、これは「100人接種した場合に5人が発症した」ということではなく、「ワクチンと偽薬をそれぞれ1000人ずつ接種した場合に、

れています。最近の研究で、無症状の感染症になることも94%予防することが報告されました。

発症および感染の予防に加え、感染者のウイルス量低下や重症化予防にも有効とされており、コロナ対策の切り札として期待されています。

一方で、一部の変異株については有効性が低下しているという指摘もあり、今後とも注意が必要です。

▽副反応

接種後の副反応としては、頭痛、関節や筋肉の痛み、だるさ、発熱などがあります。

基礎疾患やアレルギーの既往のある人や副反応などが心配な人は、接種前にかかりつけ医に相談しておきましょう。もし、ワクチン接種により健康被害が起きた場合には、障害の程度により国の救済制度があります。

▽接種費用は無料

新型コロナウイルスワクチンの接種費用は全額公費のため無料です。

発症予防に高い効果
コロナ対策の切り札

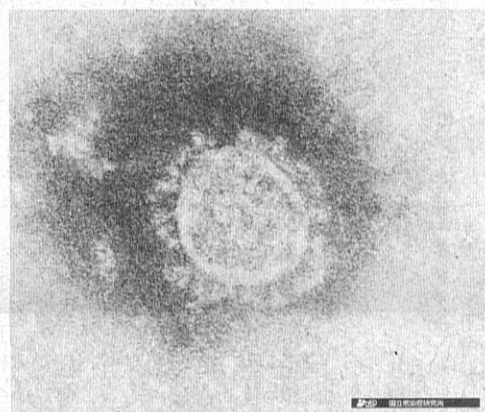
るリスクが高いためです。

▽発症予防に有効

ワクチンの接種は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延を防止することを目的

ワクチン接種した人では5人、偽薬を接種した人では100人が発症した」という意味です。

▽感染予防にも有効
また、新型コロナウイルス感染症は無症状の感染者が多く、症状がないので感染を広げる可能性を指摘さ



新型コロナウイルスの電子顕微鏡写真。中国での新型コロナウイルス感染症の報告から1年以上が経過。感染終息に向けてワクチンに期待が集まっている(写真は国立感染症研究所提供)

しかし接種は強制ではなく、予防接種による感染予防効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意思で決めることになりました。

▽接種後も感染伝播防ぐ行動を

これまで述べた通り、有効性が高いワクチンではありますが、ワクチン接種だけでは感染者がいなくなるわけではありません。ワクチン接種による集団免疫で感染する人を減らし、咳(せき)エチケット、手洗い、3密対策により感染伝播(でんぱ)を防ぐことで、新型コロナウイルス感染症対策がより効果的になります。